

家庭系「生ごみバイオガス化施設」計画の再検討を求める請願

【請願要旨】

町田市では、資源循環型施設整備事業を進めるなか、家庭系「生ごみバイオガス化施設」計画の検討が行われていますが、次のような重大な問題があります。

- ① 事業を検討する委員会では当初から家庭系「生ごみバイオガス化施設」建設の方向で話し合いが進められ、住民から強い反対が出て、議論にほとんど反映されず、建設に向けて市民との合意形成がなされていません。
- ② 町田市の目標はごみ40%削減ですが、施設ができると大量の生ごみが常時必要で、燃やすごみは減りません。
- ③ 今後の人口動態から、原料の生ごみ調達率が低くなることが予想され、施設稼働率の低下が予測されます。
- ④ ガスプラント施設の危険性が十分認識されていません。
- ⑤ 家庭系「生ごみバイオガス化施設」は、町田市だけでなく全国的に実績や経済性が十分検証されていません。
- ⑥ 都市部で同規模の家庭系「生ごみバイオガス化施設」はなく、周辺の自治体で類似施設建設が中止しています。
- ⑦ 2008年の総務省のバイオマス関連施設の事業検証では、稼働率が低い、発電効率が悪い、異物混入による稼働停止リスクが高い、ほとんどの施設でCO₂は削減されていないなど効果が出ていないという結論が出ています。

このような多くの問題をもつ施設を、市独自の実証実験もせず、費用、方式、有効性の検証も不十分なまま、性急に施設計画を進めるのは大変疑問です。「ごみになるものを作らない、燃やさない、埋め立てない」という環境先進都市を目指す市の理念に立ち返って、施設建設を再検討し、市民の協力のもと実効性のある生ごみ減量施策を求めます。

【請願項目】

- 家庭系「生ごみバイオガス化施設」建設を再検討してください。
- 市民の協力のもと、実効性のある生ごみ減量施策を求めます。